

## 保護者の回答結果（概要）

（主な回答をまとめたもの）

（※小学校・中学校・高等学校・特別支援学校のPTA会長対象）

### 【学校・家庭・地域間の目標や取組の共有等について】

- ほとんどの保護者は、学校の重点目標、達成指標、重点的取組内容を知っていると回答。
- 保護者は、自分の子どもの学校での生活の様子や学力・体力の状況と同じくらい、学校の重点目標や重点的取組、学校全体の学力・体力の状況等を知りたいと思っている。
- 学校の重点目標や学力・体力の状況、生徒指導上の課題等について、学校と話し合う機会が「よくある」或いは「時々ある」とする保護者が、
  - ・ 小学校・中学校・特別支援学校：約9割
  - ・ 高等学校：約7割
- 学校の情報を入手したいと思う方法は、「教職員から直接」や「学校便り」が多く、次に「ホームページ」が多い。
- 保護者や地域住民が学校で児童生徒や授業の様子を見る頻度について、最も多い回答は、
  - ・ 小学校・中学校・特別支援学校：学期に数回
  - ・ 高等学校：年に数回
- ほとんどの保護者が、学校の各教職員の言っていることや子どもへの接し方が、「とても」或いは「ある程度」統一されていると回答。
- ほぼ全ての保護者が、学校の目標の達成に向けた具体的な協力を求められた場合、協力すると回答。
- 学校から、学校の課題を解決するため具体的な協力を求められることがあるかについて、「ほとんどない」或いは「ない」とする保護者が、
  - ・ 小学校・中学校：約1割
  - ・ 高等学校・特別支援学校：約3割
- 「芯の通った学校組織」の取組を知っているかについては、以下の通り。
  - ・ よく知っている：小学校約4割、中学校約4割、高等学校約4割、特別支援学校約1割
  - ・ 聞いたことはある：小学校約5割、中学校約4割、高等学校約3割、特別支援学校約7割

### 【学校教育全般について】

- ほとんどの保護者が、「子どもは、将来の夢や目標を持ってがんばっていると思う」と回答。
- ほとんどの保護者が、「学校は、子どもたちの力や豊かな心を育成していると思う」と回答。
- 8割の保護者が、「大分の教育は、より良くなってきていると思う」と回答。その主な理由は、以下の通り。
  - ・ 学力テストや体力テストの結果がだんだんよくなってきている（108校）。
  - ・ 以前に比べて、学校全体が協力して取り組んでいる姿がよくわかる（95校）。
  - ・ 学校が地域、PTAと連携を取る努力をしていると思う（74校）。
  - ・ 先生の頑張っている姿を多く見たり、子どもが学校に行くことを楽しみにしている（62校）。